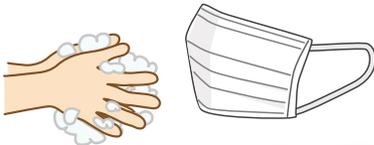


# 新型コロナウイルス対策と今後？

## 一部ゴルフ場は自粛で臨時休業も



ゴルフ場もマスク着用など対策に追われる



マスク不足で行列

タイでは渡航者への注意促す



### 強化 政府はイベント自粛要請を

安倍首相は2月26日、政府の新型コロナウイルス対策本部で、今後2週間は多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については中止・延期などの対応をとるよう要請すると声明を出した。

さらに翌27日には全国の小中学校の臨時休業（春休み、通常4月7日頃まで）を要請、入試や卒業式は感染対策を行い必要最小限の人数で行うことをお願いし、民間企業に対しては引き続き、休みが取りやすくなる環境を整えていただくとともに、子どもを持つ保護者の方々への配慮をお願いすると声明を出した。

国内では3月1日に開催の東京マラソンについて東京都が一般参加者を除くエリートランナーでの開催を2月20日に決定し、イベントの縮小や自粛が広まっていたが、首相・政府の要請により、国内の大規模イベントばかりか、公的機関、東京デイズニラランド、シー、USJなどのテーマパークの臨時休業も相次いで発表された。

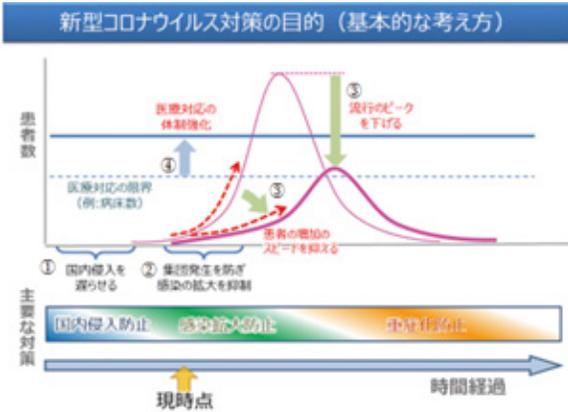
ゴルフ関係でも3月19日からの第54回ジャパンゴルフフェア2020の開催中止が2月21日に決定するなどイベント自粛や中止・延期が広まった。国内女子開幕戦のダイキンオーキッドレディスと2戦目の明治安田生命レディスは中止が決定した。

ゴルフ場でも2月中旬ごろからイベントの自粛やコンペのキャンセルが始め、2月末の政府の自粛協力要請が出て、ついにはゴルフ場やゴルフ練習場の一部でも臨時休業を発表するところが出てきた。

当面、観光、レジャー産業にもかなりの影響を与えることとなる一連のコロナ対策。ゴルフ界も様々な対応を始めており、またゴルフ場アンケートでコロナ対策の項目も加えたので、今後の動向も踏まえて報告する。

### イベントの自粛等を定めた政府の基本方針

2月25日に政府がまとめた「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」は、国内の複数地域で感染経路が明らかでない患者が散発的に発生し、一部地域には小規模



患者クラスター(数人から数十人規模の患者の集団)が発生していることから、集団発生を防ぎ、感染の拡大を抑制すべき時期に入っていると、イラスト図の②の位置を示した。

その何日後が「現時点」として、今がまさに感染の流行を終息させるために極めて重要な時期として「集団発生を防ぎ感染の拡大を抑制」すべき時期と補足説明を加えている。

折れ線グラフで予測される③のピーク(患者数)は、これから

「現時点」がどこか確認しよう

厚生労働省HPより

千葉市長は「予防は重症化しやすい大人が先だろう」と反発し独自に2週間の休校や、登校した生徒への給食の提供も発表した。全国の大半の学校は突然の休校で戸惑ったようで、給食材料や食品も残って困ったらしい。子供を持

るものと予測しており、想定されるのは3月中か、4月といったところ。

2月26日に安倍首相はそのピークの増加のスピードを抑える策として今後2週間、企業にはイベントの自粛やテレワーク、時差通勤への協力を要請したのだが、北海道や千葉県市川市などが学校の臨時休校を要請したこと等により、さらなる予防策として2月27日にはそれらを上回る策を表明した。

この要請により、急遽小中学校の多くは3月2日や3日から臨時休校とすることとなった。

感染者数が拡大していた北海道は道知事が非常事態宣言を出し、2月29日と3月1日の週末の外出を控えるよう要請した。札幌市内は人通りがかなり少なくなったようである。この都市のようであった。

学校の休校が決まり、子供たちが集まる可能性があった東京、ディズニーランド、シー、大阪のUSJが2月29日から3月15日までの休園を発表した。

山梨県では2月28日から公営施設の休業を決め、3月1日から今シーズンの営業を始める予定だった丘の公園清里ゴルフコースも3月15日まで臨時休業となった。

2週間のイベント、営業自粛が広がったのだ。

それまで、特にゴルフ施設を特定したような要請はなかったが、都内の大型ゴルフ練習場のロッテ葛西ゴルフ練習場(江戸川区)が2月29日から3月15日までの臨時休業に入ったことがわかった。ゴ

**2週間のイベント、営業自粛広がる**

つ親や祖父母も、食事や子供の面倒を見なければならぬので、ゴルフ場を含めた国内産業に大きく影響することとなった。

大人の社会でも日増しに、人々は旅行やイベントの参加を手控え、企業も出張やイベントへの参加を自粛、テレワークや時差通勤の動きが増してきた。

堀江氏でなくとも、屋外のスポーツであるゴルフ練習場が自粛したら営業できる施設が少なくなると思われる。調べてみると、都内では別の民間ゴルフ練習場も営業自粛を発表しているし、学校が休校するだけの問題ではないことがわかる。

しかも、茨城県のアスレチックガーデンGCでは2月27日に、29日から3月6日まで、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、お客様とスタッフの安全を考慮し、臨時休業にしたという。

**陽性反応者の1週間以内のゴルフプレー判明**

2月29日には「土浦のゴルフクラブ 新型コロナ感染者が利用、注意喚起」の見出しで地元の茨城新聞がWEB配信し、YAHOOニュースに流れたことで報道されたワンウェイGC(茨城)のホームページは3月1日に20万近いアクセスがあり、一時サーバーがダウンする事態となったという。同GCはホームページで「2月19日

にプレーしたお客様1名が所轄の保健所からの報告で新型コロナウイルスに感染していたことが25日に判明しました」と案内し、同新聞が「現在、保健所の指導の下、接触者の健康観察を実施中」と報じたもの。

ゴルフ場に事情を聞くと、2月24日に都内の大手広告代理店勤務の50代男性に陽性反応が出たことが判明、この男性が勤務する会社全員在宅勤務を発表して一時話題となった。

この男性の行動証言により、2月19日に同G.C.でプレーしていたことがわかったという。

同G.C.では連絡を受けて、クラブハウス等の館内を消毒すると



【重要なお知らせ】新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた当社の取り組みについて

2020年2月19日に当ゴルフ場をご利用したお客様1名が所轄の保健所からの報告で新型コロナウイルスに感染していたことが25日に判明いたしました。現在、保健所の指導の下、接触者の健康観察を実施中です。ワンウェイゴルフクラブでは、新型コロナウイルスが国内において更に拡大することが予想されることから、社内外への感染被害防止でゴルフ場に勤務する従業員、ご来場者様の安全確保の観点から、追加実施する措置も含め、次の対応を講じることにしましたのでお知らせいたします。

感染拡大防止への協力を求めたワンウェイG.C.のホームページ

もに保健所の指示により、その男性と接触（接客）したと思われるスタッフが朝と夕方に14日間体温を測る「健康観察」を指示された。同じ組でプレーした3人にも連絡を取り、保健所を通じて同様の指示となったようだ。加えて、19日に先の男性と同伴でプレーしたメンバーと別の日にプレーしたゴルフ場取締役もテレワークで自宅待機にしたという。

同G.C.の予防対策は①検温、②消毒などの予防、③パーティや昼食（軽食は提供）の提供中止など。そして来場時に中国への渡航歴があるかなどのアンケートを実施。消毒は次亜塩素酸ナトリウムのハイターを薄めて使ったという（ちなみに自治体のHPにもその作成方法が紹介されている）。また体温計はおでこ等で瞬時に測れる非接触型を取り寄せた。

これまで、陽性反応者が出たことを公表する自治体や企業はあったが、陽性反応者との濃厚接触者とみられる健康観察対象者が出た

ことまで公表するケースは稀だ。陽性反応者がいつ、どこで感染したのかは特定されていないし、発覚前から2週間前までの全接触者を特定することは不可能だからだ。ゴルフのプレーは4人で行ったことから、健康観察依頼となったようだ。

この発表後もコロナ対策を続けながら営業を続けており、ゴルフ場での感染拡大は防げているようだ。

ゴルフ場が感染場所となった調査結果は出ていないので過度に反応する必要はないと思われるが、敢えてマイナスイメージになりかねない健康観察対象者が出たことを公表したことは勇気のいる行動だ。異論をはさむ見方もあるが、感染者の拡大防止に繋がること、結果としてゴルフ場でのプレーで感染者が広がらなければ評価される行動だ。

国の方針では、陽性反応者が住んでいる都道府県名は発表しても千葉県市川市のスポーツクラブのように市町村までも明らかにされるのは多くの濃厚接触者が確認されたケースくらいだった。

## 換気が悪い場所での会合の自粛を呼びかけ

こうした自粛が広がるなか、安倍首相は3月1日に、「スポーツジムやピュッフェスタイルの会合など、換気がわるく、密集した場所や特定多数の人が接触するおそれが高い場所では、感染を拡大させるリスクが考えられるため、このような空間に集団で集まることを避けてください」と発言。

厚生労働省も「スポーツジム、屋形船、ピュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています」として、「換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避け」、イベントでは「風通しの悪い空間をなるべく作らない」ようお願いしている。

その発言が出た対策専門家会議では集団発生が出た北海道向けの要請で、①軽い症状でも出歩かない、②例えばカラオケなど風通しの悪い場所での至近距離で人と人が接触する会合に行かないこと——とし、ただし症状がない方に

とっては、屋外での活動や、人の接触が少ない活動をする事は感染のリスクが低い活動ですと紹介している。そして全国の若者（10〜30代）の皆さんへのお願いとして、若者は感染による重症化リスクは低いものの、症状の軽い人が重症化するリスクの高い人に感染を広げてしまう可能性があるとして、「人が集まる風通しが悪い場所を避けるだけで、多くの人々の重症化を食い止め、命を救えます」と呼びかけている。

3月2日現在の新型コロナウイルスの国内感染者数は274人（内死亡者数6人）となり、横浜港に停泊していたクルーズ号の感染者数705人には及ばないが死者数は6人で並んでいる。

国内ゴルフ参加率が7%近くあるわけだから、感染した人がゴルフ場でプレーする可能性はある。ただし、厚労省のHPでも明記されている通り、屋外での活動は感染リスクが低い。

まだゴルフ場、ゴルフ練習場で営業を休止した施設はごく一部だ。ただし、国から名前が上がったスポーツジムでは、ゴルフ練習場などよりも多くの割合でイベントの

自粛や臨時休業の施設が出ており、より対策が求められている。企業などの多くは、国が想定した2週間である3月15日までの自粛に取組むこととなりそう。その時点でも感染者の増加が続いているのであれば、さらなる自粛の延長となるかもしれない。

いづれにしても大きなイベントの開催の可否は感染の広がりが度合いによりそうだ。ここで勘違いしたくないのが、営業を自粛した方が世間の評判が良くなると判断してしまうことだ。オーナーや経営者がベターと思っても、そういう見方、判断をしてしまうと産業、経済活動を分断し、大きな景気後退を招いてしまうためだ。

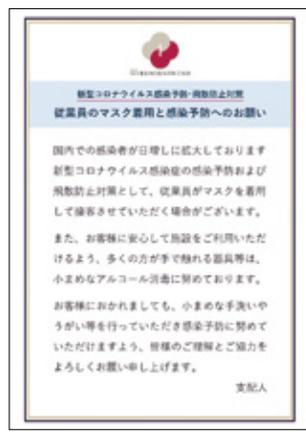
外出禁止などにして、都市機能が麻痺し、食料の流通や医療従事者が減少すると、日本中が東日本大震災級の混乱を招きかねない。指摘する専門家もいるほどだ。

自治体によっては、①うつらない、②うつさない、③（医療機関を）つぶさない——と医療機関を守る事が大事と説明。インフルエンザは国内で年に約1万人の死者が出ており、今年度の患者数は

は例年の1千万人より少ない約7百万人だが、週に20万人以上が医療機関で受診しており、コロナの比ではないのだ。厚生労働省の受診の目安では、①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く、②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある（高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合）——方は「帰国者・接触者相談センター」への相談の目安になるとした。また、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談下さいとしている。

新型コロナウイルスは、新型というだけにワクチンの開発も時間がかかるし、明確な治療や検査の普及も日本ではまだ少ないことがわかっていて、8割方は軽症で直るといふものの、重症化して死亡する方も2%ちかく出ているので何とかしてもらいたい、一番の危機はパニックと医療体制の崩壊なのだ。インフルエンザにかかりやすいのは乳幼児や若い世代で、

コロナ対策防止で従業員のマスク着用を案内するゴルフ場ふえる



諸外国でも休校が真っ先の手立となつていいる。

いづれにしても、コロナはインフルエンザなど、紛らわしい症状もある所以对策も含めて情報を共有して確かな対応に当たりたいところだ。

数 ゴルフ場への影響懸念が半

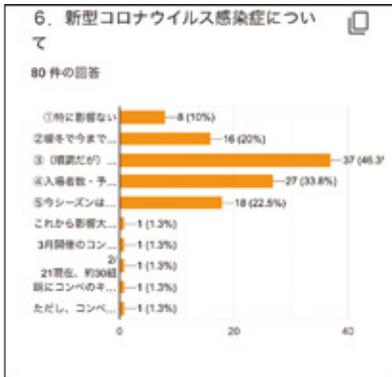
月刊ゴルフマネジメントではゴルフフェアの中止が発表された2月21日からゴルフ場向けアンケートを実施し、中間集計（2月27日）段階でもコロナウイルス感染症への懸念が日増しに高まっているのが感じられた。

新型コロナウイルス感染症に関して、①ゴルフ場営業への影響については、「順調だか」今後にな

「安」が48・7%とほぼ半数を占め、「入場者数・予約減の様相」32・9%、「暖冬で今までは順調」と「今シーズンはこちらから」21%、「特に影響はない」は10・5%であった。

②営業時の対応については「特に変わりなく営業」が最多の40%で、「公的機関の指示を注視して判断」36%、「従業員がマスクする場合があるのを告知」34・7%、「マスクの着用や予防策を徹底して営業」28%で、「高熱等の方の来場を断る場合も」は2・7%であった。

③従業員対策は「マスクの着用や高熱時の休暇推奨」が50%で、集計当初多かった「従来通りの営業」48・7%を上回り、予防意識の高まりが感じられた。以下



ゴルフ場アンケート (3月2日段階)

これは日増しに感染症の拡大と対策が発表された影響もある。ゴルフ場関係では2月21日に発表したPGMGグループは感染予防及び拡散防止の一環として手洗い、うがい、咳エチケット等の励行やスタッフがマスクを着用して業務をする場合がございますと2月26日になるとゴルフ場経営者団体の一般社団法人・日本ゴルフ

は「感染症予防の告知・講習会実施」27・6%、「イベント等への参加自粛」15・8%で、従業員対策として「高熱等の方の来場を断る場合も」を選択したゴルフ場が10・5%と1割ほどであった。

ゴルフ場事業者にとって「安全で安心なプレー環境の確保とそのために実施している対応策の告知」が自粛ムードや根拠のない風評によるゴルフプレー忌避を防ぐために重要と強調した。

2月27日には㈱アコーディア・ゴルフも感染予防および拡散防止について、「お客様と従業員の健康と安全を考慮し、対策に努めております」と発表。予防や従業員

ゴルフ場としての新型コロナウイルス感染症対策(案)

※ゴルフプレーヤー向けの「告知書」(案)として作成しました。直接郵送してご提供ください。

【目的】  
 ※ゴルフ場としての「新型コロナウイルス感染症対策」策断に併発することにより、ゴルフプレーヤーの安全を確保し感染を防止する。

【ゴルフ場としての新型コロナウイルス感染症対策(案)】

【ゴルフプレーヤーに協力をお願いする事項】

- ※ゴルフ場(クラブハウス)入場時において、「おのれ」に協力下さい
- ※服装やシューズは清潔に保ち、「おのれ」の履き替えをお願いします。
- ※服装やシューズは清潔に保ち、「おのれ」の履き替えをお願いします。
- ※おのれ、「新型コロナウイルス」に感染した場合は、直ちに限りご連絡をお願いします。

【ゴルフ場として実施している事項】

- ※従業員の健康管理に協力するために、毎日の「健康測定」と「検温」を実施しています。
- ※「手洗い・うがい」を一定時間内全ての職員が実施しています。
- ※業務の感染防止の対策や見られた従業員には検温を実施しています。
- ※業務中は、「マスク着用」を徹底しています。
- ※業務終了後、タープ・椅子・設備(筐・ロッカー)・ドアノブ、多くの人が触れる場所の定期的な消毒については、消毒作業を実施しています。

【お問い合わせ】  
 ※お問い合わせは、お電話またはメールにてお願いいたします。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

フ場経営者協会(NGK)が、今後2週間程度が最重要期間であるとの政府筋の見解から、各ゴルフ場事業者において既に実施されている対策を来場者に認知して頂くひな型を参考資料として網羅的にまとめ、会員ゴルフ場にメールにて配布した。

また、ゴルフのツアーだけに限らず、業界の会合、セミナー、委員会の開催までも3月上旬は軒並み開催自粛となってきた。



アルコール消毒はゴルフ場でも一般的に

本号が発行される3月15日に感染状況はどうなっているのか。冒頭で紹介したグラフのピーク、感染者数の増加が減っていないければ、

また、ゴルフのツアーだけに限らず、業界の会合、セミナー、委員会の開催までも3月上旬は軒並み開催自粛となってきた。

先の方の安全を最優先するとして、従業員の原則在宅勤務等を発表示している。

ちなみにオンライン予約の(株)ゴルフデザインエスト・オンライン(GDO)では25日にこれまでの対策に加えて2月25日から3月6日までの間、従業員とその家族、取引

の体調管理の徹底、通常の共用部清掃に加え、特にフロント周り、ドアノブ、精算機、カート、レストランや浴設備内などの拭き上げ消毒の強化と、具体的に対策を列挙した。

海外でもタイではサーズ流行の経験から早くから対策を行っていた。写真はゴルフ場や機内



さらなる対策も必要になるだろう。すでに海外からは中国のみならず、日本、韓国は感染者数も多く、渡航禁止、入国禁止を打ち出す国もある。ベトナムの一部ゴルフ場では日本、韓国の方のご利用はできないと日本向けにも情報発信している。

ゴルフ場、練習場、関係企業はどうして過ごせばいいの。

ゴルフ場は4月のゴルフシーズンを間近にして、早く終息を願いたいところだろう。3月15日を過ぎても感染が広まる状況が続いているとすれば、感染者数を増やさないため、できることに協力する必要がある。

そして政府は従業員の休業補償などの施策を発表しているはずだ。予算が膨張した東京五輪も控えて、景気が減速すれば寒い冬の時代に戻ってしまう。

国内企業も在宅勤務、テレワークなど働き方改革が、嫌がおうにも促進されただろうし、安倍首相の発言で一時ネットが炎上したという有給休暇取得も進んだかも知れない。それとキャッシュレス決済が普及したり、テレワークの先にあるリモートワーク構築をすすめる企業も増えてくるに違いない。

都内でも出勤日・人数を減らして変則テレワーク体制に取組むケースが出てくる。ゴルフ場は現場に人がいなければ接客できないが、例えばこの間の展示会で別の場所にいるオペレーターがモニターを通して接客するシステムが紹介されていた。味気ないかも知れないが、ロボット対応でもいいだろう



ロボデックス展示会で遠隔接客が展示されていた

し、可能性は広がる。

ゴルフ場は屋外のスポーツで影響は少ない方だとみられるが、自粛ムードから来場者の一時的な落ち込みは考えておかなければいけない。

今は多少の接客不足、コース管理不足となっても利用者の理解は得られるだろうから、生産性を高められる、省力化がどこまで可能かを実験して、業界で情報を共有化できればゴルフ場の生産性も高められるだろう。

ただし、リモートオフィス型になると成果報酬型になりそうので、逆に現場での接客、作業が必要なゴルフ場は高齢者や女性、遠方住

住者などの活躍方法を考えていけば求人面でも広げられる。

2013年の東日本大震災で国内経済、ゴルフ場も復興に苦しんだが、業績は震災前以上まで回復した。業界が協力して課題解決に向かいたいところだ。

2003年にサーズが流行した中国はその後ゴルフ産業が伸びて行った。自粛した後は、開放的な屋外、空の下でレジャーを楽しむという需要が爆発的に増えたケースがあることを報告したい。

自粛が続くので先を見据えた取り組みを考えたいところだ。



4月1日から健康増進法が完全施行。受動喫煙防止やタバコの不始末による火事への注意も必要に